

# 議会モニター会議 会議録

- 1 日 時 令和6年2月15日(木)  
19時00分開会 20時39分閉会
- 2 場 所 第2委員会室
- 3 議会モニター  
出席委員：大野春雄、出田牧子、吉國和則  
欠席委員：北村光明、鈴木謙三、三浦明彦
- 4 議 員  
出席議員 議長：山下清美  
議会運営委員会：橋本晃明委員長、只野敏彦副委員長  
中河つる子、川上 均、深沼達生  
傍聴議員：山本奈央、田村幸紀、鈴木孝寿、桜井崇裕  
佐藤幸一、西山輝和、中島里司
- 5 事務局 事務局長：大尾 智、次長：川口二郎
- 6 次 第 ①開会  
②挨拶  
③参加者紹介  
④議会活動報告  
⑤意見交換  
⑥質疑  
⑦閉会・挨拶
- 7 会議録 別紙のとおり

## 議会モニター会議

【開会 19:00 閉会 20:39】 令和6年2月15日

---

### 1 開会

- 司会（只野敏彦）：それでは、令和5年度第2回清水町議会モニター会議を開催します。本日の進行を務める議会運営委員会副委員長、只野敏彦です。お手元のレジメに沿って進めさせていただきます。まず会議の開催にあたり、清水町議会議長、山下清美よりご挨拶申し上げます。

### 2 挨拶

- 議長（山下清美）：皆さんこんばんは。今日は遅い時間にお集まりいただきありがとうございます。前回、7月にご意見をいただき、議会運営委員会としても、議会としてもその意見をそれぞれ今後活かしていきたいということで、重ねているところがございます。また、今日は遅い時間ですので、限られた時間ですけれども、忌憚のないご意見をいただきたいと思います、よろしくお願いいたします。

### 3 参加者紹介

- 司会（只野敏彦）：本日は3名が欠席であります。参加者の方より一言ご挨拶をお願いします。
- 議会モニター（出田牧子）：いつも意見を言わせていただいてありがたく思っています。今日もよろしくお願いいたします。
- 議会モニター（吉國和則）：前回7月に初めて出席させていただきました。その後、議会運営委員会でモニター会議の後、一生懸命検証、前向きにさせていただいた記事を読ませていただきました。今回もよろしくお願いいたします。
- 議会モニター（大野春雄）：よろしくお願いいたします。
- 議長・議会運営委員・事務局（各自、自己紹介）
- 司会（只野敏彦）：議会運営委員会委員以外の議員も会議の傍聴として参加しております。

### 4 議会活動報告

- 司会（只野敏彦）：前回会議以降の令和5年度議会活動報告については、事前に送付させていただきご覧になっていると思いますので、説明は省略させていただきます。それでは意見交換に入りますが、本日のモニター会議の終了時刻は8時半を目途とさせていただきますので予めお知らせいたします。ここからの進行は議会運営委員長、橋本晃明より進めさせていただきます。

### 5 意見交換

#### (1) 議会を傍聴して感じたこと

- 議会運営委員長（橋本晃明）：よろしくお願いいたします。モニターさんからのご意見、順に検討してまいりたいと思います。まず、議会を傍聴して感じたことの1番目、以前よりも同じ質問を複数の議員が何度も質問して、役場職員が同じ答弁を繰り返す延々とした時間が減ったので、見やすくなったと思う。これは出田さんから出

された意見ですけれども、補足ありますか。

- 議会モニター（出田牧子）：そのとおりで、見やすくなったと思います。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：見やすくなったというのはどういった感じで。
- 議会モニター（出田牧子）：前は3人くらい別の議員が同じ質問を多分用意してたからだと思うんですけど、役場の答弁があった後でまた同じことを聞いて、また役場の人が答えるということを3回、3人ぐらい続けてたことかあったので、すごく見てて時間はもったいないし、つまらないしと思ったんですけど、そのようなことが前に言ったからかもしれないんですけど、なくなってスムーズになってよかったなと思ってます。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：他の方からこれについて何かございますか。では次、2番目、理事者側から議会に協力を求めるような働きかけが少なく感じるし、逆に議員側から理事者と一体となって、協働してのまちづくりをしようとの決意を感じるものが少ないように思う。欠席の北村さんからのご意見ですが、他の方何か意見ございますか。
- 議会モニター（出田牧子）：議会を見ていて役場の人たちが色々町民のことを考えていろいろ状況を見て色々やろうとしてくれるのを感じることができて、町民が役場のやっつてることを見るのができていい機会だなんて思いますし、ただ議員さんがなんとなくその役場がやっつてるのを町民のためにやっつてるつもりなのをあんまり理解してなかったりするのかなと思うことも時々あるんですけど、意見を言うことでその議題に上がるので、町民が見ててわかるのはいい機会だなんて思って見ました、以上です。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：議長、これについて。
- 議長（山下清美）：議会を傍聴して感じたことということで、ご意見をいただきました。これからも議員13名のそれぞれの立場もありますので、それと理事者としてしっかりとやり取りをしながらまちづくりに議会としても進めていきたいと思えます。

## （2）議会のホームページやインターネット中継を見て感じたこと

- 議会運営委員長（橋本晃明）：今後ともよろしくお願ひします。次に議会のホームページやインターネット中継を見て感じたことという項目に移らせていただきたいと思います。うんですが、まず議会ホームページですが、議会の活動をより理解してもらうため、インターネット中継に加えFacebookやInstagramを開設し、議員の議会活動や議会情報を発信してほしい。議会の様々な活動を積極的に発信することで、議会をより身近に感じ、関心が高まると思う。特に若い世代には有効であると思う。土幌町議会を参考にしているということでいただきましたが、これは吉国さん補足ありますか。
- 議会モニター（吉国和則）：インターネット中継というのは、全部の議会ですべてしてるわけではない。約半数、清水町としてはインターネット議会は真ん中くらいなんです。それは評価いたしますが、FacebookとかInstagramというのは写真や動画の投稿をします、同時に、開設して例えば議会活動で言えば、一般質問もそうだけど研修だとか色々な部分で、今こういった町に来てこういう研修してるって動画を載せるとか、そういった少なくとも若者が参画しやすい、若者が議会の傍聴に来るのは今あまり考えられないので、せめて手持ちのスマートフォンでそういった動画だとか、若者向けにと言いますか、そういう考えでここに書きましても、ただ、今少し問題なっている後期高齢者だとか、高齢者の一部が全体ではないと思うんですけど、私も高齢者ですけど、前期高齢者ですけども、高齢者の方がそのSNSだとかソーシャルネットサービス、そういったスマホを持っていない方もいるのは事実です。持っている方は覚えようとして、孫だとか子供に聞いてやってますので、それはそれでいいと思うんですけど、復唱しますけども、リアルタイムとか、若者を惹きつける、町全体で言うとう有権者18歳以上の方が、そういった議会の画像を理解するには一つの、お金あまりかからない手段として意見を述べさせて

いただきましたのでお願いしたい。

- 議会運営委員長（橋本晃明）：他の方から何かこれについてご意見ございませんでしょうか。
- 議会モニター（出田牧子）：Facebookのページって自分でFacebookアカウントを持っていないと見れないので、でもInstagramは見えるんですか。ブログのページを作ったら見えるんですよね。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：土幌町の取り組みも写真が載っているので雰囲気がかめていいかなとは思いますが、ただSNSというのは、やっぱりお知らせするにはいいと思うんですけど、そこで議論するっていうことにはならないので、ルールをきちんと決めてからじゃないとできないのかなっていう部分と、あとは事務方の手間がどのぐらいかかるかっていう部分があるかと思います。
- 議会モニター（大野春雄）：2番目にあります議会のホームページやインターネット中継を見て感じたことと書いてありますけども、これは事務局が頑張っているもデータを出していただいています、毎回こういうテーマでやってるんですけども、この結果は増えてるんでしょうか、その報告が年間まとめては出てると思いますけども、この結果、本来ならば細かく出していただきたい。いつもテーマが同じテーマです。大変申し訳ないけれども、なぜこの大きな問題はこの会議ですね、この会議に6人いるんですよ、なんで6人で3人が出席しない、いつもだいたい少ない、私も休む時がありますけども、そういう結果の方が大事じゃないかと思う。3人やそこらじゃ意味ないと思います。同じ人の意見ばかりいつも言ってて、それを議会に反映するとかそういうのはあるんでしょうか。あるから私も言いたいことがいっぱいあるからやりますけども、事務局とか大変だと思いますけども、モニターの委員、まずそこです、人数が少ないから同じ人の意見ばかり開催する時に聞いて、それで成り立たないと思いますね。だから10人募集していなかったらなんとか10人にしようとか、そういう努力をしてもらいたい。この点いかがでしょうか事務局。
- 議会事務局長（大尾 智）：モニターの募集については努力してないって言われるとあれなんですけど、色々それぞれ議員さんからもお声がけいただいたりしながら、募集活動していただいていると思うんですけども、なかなか手がいないっていうのが事実です。これからもう少し若い人が応募しやすいような告知の仕方とかを考えていかなきゃならないと思います。あとモニターさんが少ないので同じ人の意見っていうようになるんですけども、この部分はモニター制度ということで、仕方ないところがあるんだろうなと思います。モニターということで2年間決まった数の方をお願いするので、その方からの意見をいただくのがこのモニター会議なので、少ない意見同じ方の意見に偏るというのも、人数の限られたモニター制度の中では仕方ないのかなというふうに事務局としては捉えています。たくさん意見いただく場面は、去年10月にやった意見交換会とかそういうところで、あそこもそんなに人は多くなかったんですけど、そこにたくさん来ていただいているんな意見いただくと、あそこでいただく意見とこのモニターさんのいただく意見はちょっと違うというか、モニターさんは議会の運営とかやり方、進め方についての意見をいただきたいというのが部分なので、ちょっと違うんですけども、繰り返しになりますけどモニターをお願いしてる部分、あと人数を制限してる部分でいくと、なかなか毎回同じ人のご意見っていうのは仕方ない部分あるのかなというように事務局としては感じています。
- 議会モニター（出田牧子）：前回のモニター会議が終わった後に、言えばよかったって話をしてたんですが、ミライ自分事化会議とかで無作為で町民を集めてたのありましたよね。あれみたいに無作為でちょっと集めてみて、どうしてもやりたくない人は辞退してもらえばいいと思うんですけど、それで集めてみたらいいんじゃないかなと思いました。話が振られてきたらじゃあやってみようかって思う人もいると思うので、無作為ですてますってあなたは当たってしまいましたっていうことだと、ああいうように人が集まってくるんなら、モニター会議も集まってくれそう

なので、それプラス自主的にモニターやりたい人も募集してますという感じで宣伝すれば、10名ぐらいは無作為で呼んでみてもいいんじゃないかと思いました。多分10人お願いしたら6人ぐらいは町民頑張ってきてくれるんじゃないかなって思ってたんですけど、今回忘れずに言えてよかったです。

- 議会モニター（大野春雄）：事務局長から説明ありましたが、ご苦労されているのも良くわかりました、ただ何もなんとか委員を増やす方法を考えていただきたいなと思いますので、大変でしょうがよろしくお願いします。私のことに関してで申し訳ないんですけど、大野さんはもう歳だからやめてもらおうなんて言われてるんです。そういうことまで言われて参加しているんですけど、私はそういうことを言われてる、耳に入るんです。そしたら人がいないから大野さん入れてんだなんていう感じの委員ですから私は、誰とは言いませんけどもそういうことを言ってたんじゃ全然モニターの委員なんか集まりません。前回のテーブルで囲んだのはすごく良かったと思います、あの時は結構人数いましたから。くどいようですけども、この状態でモニターの委員会をやっていいのか、これが議会活性化につながるのか、私は疑問がある。
- 議会事務局長（大尾 智）：前にもお話ししたと思うけれども、モニターの役割というのは、ここに書いてあるような議会のやり方、情報公開の仕方とか、そこを良くしていこうという部分でご意見をいただきたいというのがモニターで、町民との懇談会みたいに、町を活性化させるために議会、議員として何をしなければならぬのだろうという、この間の意見交換会みたいなのは頂く意見の質というかが違うというように整理している。なので、無作為抽出というのもあったけれども、それもいいかなと思ってるけれども、どちらかというとしっかり普段から傍聴していただいたり、ホームページ見ていただいたり、中継を見ていただける方をお願いして、細かい部分も含めて意見頂けるような方にモニターになって頂いて、そこで進行とかも含めてどうなんだろうという意見をモニターさんからは頂きたいと思ってるものですから、大野さんのおっしゃることもわかるんですけど。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：戻りたいと思いますが、大野さんの方からこの進め方についてお話ありましたが、モニター制度は制度として決まっている中でやりますので、その他のところでたまたま時間あればお話しさせていただきたいと思うんですけど、ただいまは議会のホームページやインターネット中継についてどうのご意見かっていうことを伺ってますので、よろしくお話ししたいと思います。
- 議会モニター（吉國和則）：今委員長の方から私のSNS、Facebook、Instagramの話ですけども、なかなか難しいというお話でした。ただ、議会情報を発信するということを将来的と言いますか、この議会の改革の取り組みの一つのツールとして、皆さんで検討の価値はあると思うんです。私はモニターですので、勝手な事ばかり言っているのではなくて、色々勉強して、色々調べて、勇気を持って発言させてもらってますので、検討ぐらい今後していただきたいと思います。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：ありがとうございます。難しいって言ってるわけではなくて、議会活性化の中で進めてまいりたいというふうに思ってます。では次、2番目に移りたいと思うんですが、ホームページに議会モニターに関する制度や出された意見やモニター会議の議事録は公開されていないのではないかとのご指摘がありました。これについてはいかが。議会モニターのページっていうのは今のところないんですが、検索すると前回の広報誌の1ページの部分が出てくるかなと思います。事務局からも。
- 議会事務局長（大尾 智）：会議の議事録は載せていませんので、以前吉国さんからもモニターの応募の部分も含めて、モニターってこういうもんだよっていうようなところを載せて欲しいというご意見もありまして、そこについてはこれからできる部分、やっていきたいというように考えて、なかなかすぐできなくて申し訳ないんですけども、この辺も議運の中で話をしながら、議事録等も載せていければいいと思っておりますので、検討させてください。

- 議会運営委員長（橋本晃明）：次ですけども、議会から発信するFacebookなどSNSを作って、双方向の交流があっても良いのではないかというご意見が出されておりますが、先ほども吉国さんからのところで、SNSの活用っていうようなことが出てきましたけども、ここではその双方向の交流っていう部分があるんですが、これはちょっと私だけの考え方ではあるんですけども、議会としての共通の見解を求めないと双方向のやり取りはできないので、現実的にはちょっと厳しいのかなと思っておりますが、先ほどのご意見出された観点からこれを見るとどう思われます。
- 議会モニター（吉國和則）：これ北村さんですよ。勉強してないのでわかりません。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：これらのことというのは議会運営委員会の中で、今後議会の活性化についての議論していく中で検討してまいりたいと思いますのでよろしくお願いたします。次にインターネット中継に関してですけれども、9月の定例会に関し、タクシーの助成券、要援護者及び免許自主返納者のタクシー助成券の弾力運用が検討され、今後は本人のみならず同居家族の利用促進が期待されると。
- 議会モニター（吉國和則）：これ全体的じゃなくて、私3、6、9、12月の定例会、インターネットで見てますけども、前は総体的な話だったけども、実際に心に残ったというか、一般質問を議員さんがされて、理事者が答弁されるんですけど、そういった形で結果としてこういったことが印象に残った、というのがタクシー助成券、高齢者の居場所づくり、買い物手段、家畜伝染病予防という4点がそういったやり取りの中で私が感じた視点ですので、よろしくお願いたします。12月定例会で思ったのが、条例改正、これはYouTubeで見てなかったんですけど、勝毎に12月21日の編集余録で書いてあった。それをここに転載してます。内容はこのとおりなんですけども、物価高騰に伴う住民生活の苦がある、値上げ続きでやむなく銭湯入浴回数を減らす人などに目を向けた判断だと締めているけれども、私が言いたいのは、実際に議会は議決権の権限があることを改めて感じた。あまり否決というのは私7月になってからなかったもので、初めてかなと思ったので、そういった思いで書いてるんですけど、権限があることわかったので、町民に寄り添い是々非々で対応して欲しいと思いましたという感想です。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：インターネット中継を見て感じたことということで、この件に関して他の委員から何かありますか。次の②のところですけども、YouTubeで議会開始前と休憩時間がカットされたので、聞き流しているのも聞きやすくなった。議会を聞いてると清水町がどのようなことになってるか色々わかって興味深いので仕事の作業をしながらでももっと多くの町民に聞いてもらえたら良いと思うということですが、これは出田さん。
- 議会モニター（出田牧子）：私ガラホなので、早送りとかスキップとかできないんです。ずっとかけっぱなしで聞いてたら前はあの休憩時間とか1時間置いて他のことしてみたいな感じだったんですけど、今はカットされてるので続けて聞いててとてもいいなと思いました。それと書くの忘れたんですけど、広告が入っちゃうんですね、多分オフにできると思うので、広告の色々な宣伝をオフにしたらもっと聞きやすいついていうか、オフにできると思うのでできたらオフにして欲しいです。自分でYouTubeチャンネル3個持ってるんですけど、3個とも広告入らないようにしてるので私は、何とかしたらできると思うので、よろしくお願いたします。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：今について事務局から。
- 議会事務局長（大尾 智）：見る方はお金払うと広告が流れなくなるんですけど、出してる方は広告流さないようにできるっていうお話ですね。ちょっと調べます、ごめんなさい、今全くよくわかりません。確認します。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：次、議会中継の動画で、議会は10時からですのと同じ画面は短縮し、休憩は理由がわかるように編集してはどうかという意見が出されておりますが。
- 議会モニター（出田牧子）：今はカットされてると思います。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：休憩の理由がわかるようにという部分は、ただ休憩っていうんじゃなくて、なぜ休憩になってるのかっていうのがわかるようにということ

だと思うんですが、後からであればできますかね。

○議会事務局長（大尾 智）：なかなか休憩の理由は難しいんじゃないでしょうか。

### （3）議会だよりを読んで感じたこと

○議会運営委員長（橋本晃明）：難しいかなという事務局の話もありましたけど、議会運営委員会の中で機会があればこれらについても検討していきたいと思います。ここまでよろしいでしょうか。次、議会だよりを読んで感じたことということですけども、経費削減のため、もっと単純化整理する必要がある。カラー化しているが、単純化して内容第一のもので良い。分量ももっと抑えて不要なものの検討をするというご意見が出されておりますけど、他のモニターの方はどのようなお考えかお聞かせください。

○議会モニター（吉國和則）：私帯広で働いてるもんですから、市民広報、市議会のも入ってくるんです。市議会はA3で多くて3枚、少なくて2枚入ってきます。それと比べたらこちらの方が量は多いし、ただ市議会のやつ見ると、一般質問と補正とかそれで終わり、何も無い、これは色々議会の説明が詳しく書いてある、色々な見方あるけれども、私は帯広市の議会だより見るんだったらこちらの方が字もすごく大きいし、内容もあるし、私は今のままでいいかなと思ってます。

○議会運営委員長（橋本晃明）：傍聴席には議会広報の方も座ってらっしゃるので、今後の広報委員会での議論の参考にさせていただければと思います。次ですが、清水高校生模擬議会の高校生議員の一般質問で町政の発展を願う政策提言は、議会だよりの内容からとても新鮮で初々しかった。高校生模擬議会に関してですけど、今後の議会活性化につながると思うということで、これは吉国さん補足ありますか。

○議会モニター（吉國和則）：おそらく皆さん町民はすごく評価している、これから未来を見て町づくりっていう中で、若い世代の模擬議会ということですけども、議会としても事前説明会に足を運んだり、色々努力して高校生の議員の心をつかむと言いますか、緊張しないように努力が見られます。私は今後高校生が議会に来るっていうのは悪くない、今度、議員さんが高校とか専門学校とか中学校だとか行って、お出かけ意見交換会みたいなものをしていただければ、一歩踏み込んでそういうことをしていただければありがたいなということで、意見としてここに書かせていただきました。

○議会運営委員長（橋本晃明）：高校生の意見も取り入れなさいという感じですか。

○議会モニター（吉國和則）：高校生が清水役場に来て、議会に来て、高校生議員になってますけども、そういった地域、高校生、有権者の一部ですけど全体でそういった形で進めるのはすごくいいと思います。若い人の意見を聞くのはいいと思います。今度逆に議会が高校生だとか専門学校だとか色々なところに向いて意見交換もすると、もっともっと活性化になるということで、4行目に書いてあるんですけど、今後はそんなふうにはできないかなって感じたのでモニターとして意見を述べさせていただきます。

○議会運営委員長（橋本晃明）：今後の議会活性化の中での検討課題にさせていただきたいなというふうに思います。模擬議会の準備段階では2回ほど高校の方にお邪魔してっていうこともありますが、限られた生徒さんとの交流しかないので、今後の課題にしていきたいと思います。③ですけども、町の広報誌には広報モニター欄があり、広報に対する意見や感想が掲載されている。議会だよりも議会だよりモニターを募り、議会モニターからでも良いが、意見や感想を掲載することを検討してほしいという意見ですが、これは吉国さん補足ありますか。

○議会モニター（吉國和則）：今ですね今月号見ます。毎月広報モニターの感想って出てるんですけど、分かりやすいんです、コンパクトに3行、4行にまとめていて、本当の感想、モニター感想、いいところはいい、これはこうだといいのになというものを参考にして、広報広聴常任委員会で、今回は176号ですが177号の時、176号はこんなこと感じましたっていうのができるかできないか。これはモニターとしての

率直な意見で、モニターは議長から委嘱されてますけども、議会モニターの中で議会だよりモニターがいいのか、わからないですけど、新たに議会モニターになるのかわかりませんが、議会だよりモニターがいればもっと色々な意見聞いて広報常任委員会の方も参考にできるのではないかとということで、意見を書かせていただきました。

- 議会運営委員（川上 均）：基本的にはモニターさんの方から出してもらうのが本来だと思うんですね、これはいいことだと思いますので、是非広報の方で検討していただきたいなと思います。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：先程、大野さんからも出ましたけれども、モニターの方がたくさんいないと広報の方までモニターするのは大変かなと思いますけども、今後また参考にしながら進めてまいりたいと思います。次は、議会だよりの回答は全て町長によるものになっていると思ったので、町長が答えたことだけ書いているのかと思っていて、これはどういったことか。
- 議会モニター（出田牧子）：答えをいつも町長の答えしか多分書いてなかったと思うんですね、全部返答して答えてたのは町長が最後にいうだけで、ほとんどの内容は役場の課長たちだったと思うので、あれと思ってて、どういう風に照らし合わせてるか見たことないんですけど、いいのかなってちょっと思っていました。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：一般質問は町長に答弁を求めているので、最初の答弁は町長が答えて、再質問から具体的なものになると課長が答弁したりするっていうこともあると思うんですけど、基本的には課長にしても町長が答えるべきものを答えてるっていうように私は思ってるんですけど。町長と違う考えのことを課長が答えるということはない。
- 議会運営委員（川上 均）：基本的に課長が答えてもそれは全部町長の答えて、イコールですと考えていただいていいと思います。だから課長が勝手に自分の意見を言うことはできない、本来はできないはず、それを許してるのかどうかはわかんないですけども。
- 議会モニター（出田牧子）：実際にインターネット中継を聞いててこれを見ると、返答してたのは町長じゃないけど町長の回答となっているのをあれと思っちゃうので、でもそういうことであれば大丈夫だと思います。ただ、何も知らない人が両方見て、全部町長が喋ってたわけじゃないなって思うんじゃないかなと思ったので入れてみました。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：これは議会だよりについてというところでのご意見なので、議会だよりの一般質問の答弁も質問も字数が制限されてる中で書いてるので、そこ動画が全く同じというようにはならないのかなと思います。川上議員からも補足ありましたけれど、基本的には町としての考え方を答弁してるっていうことであります。次、5番目ですけども、紙面の編集は議員自身が行っていると思う、そのことは評価するが、一般質問のページは1人1ページと制限があるのか。自らの質問数の制約になってしまわないかと懸念する。総ページ数が決まっているのなら認定する分のページを割り当て、一般質問しない議員の分として質問数を増やすなり、詳しく表現するなり使い道に工夫があってもいいのではないかと思います。皆さんどう思うふうになりますか。
- 議会運営委員（深沼達生）：このことなんですが、議員によっては質問する項目が4つか5つ、また中には1つ1項目だけっていう形で、議員によって結構バラバラで、その中で多い質問をする人は決まった字数でまとめるのはやっぱり大変っていう話は出てました。その中でこれからそういった部分も考えていかなければならないという話が出てはいます。まだどうするかは決めてないんですけど、検討課題とさせていただきます。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：この部分は広報の委員会の中でもずいぶん工夫されてると思いますが、今後の進め方については広報委員会の中で参考にさせていただければというように思います。よろしいでしょうか。次、予算についての記事を詳しくするより決算の内容について議会として検証を詳しくし、次年度予算編成に寄与



ることができるよう議会だよりを期待するということです。これも北村さんからの意見ですが、他のモニターの方からご意見ありますか。

- 議会モニター（吉國和則）：100%ここに書いてあること分かりませんが、おそらく新年度予算で、予算委員会で、その時の議員さんが承認したとすれば、次の年に決算で前年の予算が通常通り執行されたかということの検証のことを言ってるんですよね。成果表でおそらくその議員さんは、最近ではネットで発信してないかわかんないけど、昔は1事業ですごく細かく評価表くれた記憶あるんですけど、最近ネットに載ってるやつは、4、5年前かな、それプリントアウトしてその10年前と比べたら、半分まで行かないけど2/3ぐらいにコンパクトになってるんですよね。私が言いたいのは、予算に対して決算の成果表というのは詳しく書くことによって納得できる、それが大雑把になっているような気がするの、おそらく北村さんが言っているのは、その事も含めて議会だよりにできる点があればした方がいいんじゃないか、どうしてもそれやると大きな予算に対しての執行率になっちゃうんで何とも言えませんがね。テーマを絞ってやるのかなっていうことかなって思ってますけど、ちょっと戻りますけど、予算について決算は大切だってことを言っていることは事実と私は感じました。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：決算の重要性っていうのは言われてるんですが、決算の審査をした後で、その前の年の審査をして、次の年になります。1年間どうしても遅れていくというところはあるかと思う。企業なんかだと見込決算だとかもあるでしょうけど、そこは検証するという意味での決算は大事だっていうのはあると思います。次、議会モニターとしての記事や会議議事録を残していただき、出された意見を公開して欲しい。これは先ほども出てましたけども、議会モニターの会議についても議事録を公開するというお話だと思います。できるだけその方向がいいかなと思いますけれども、事務局の負担が増える部分もあるかなと思うので、そこは効率的に何かやっていく方法を考えてもらいたいなということしか言えませんね。
- 議会事務局長（大尾 智）：議事録自体は作っているの、それを載せる載せないというところの判断になると思いますので、今も議事録は作成してますので、極端に作業が増えるっていうわけではないかなと思っています。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：次が同じ項目の中であるんですけど、現行のモニター会議は年2回であるが、定例議会が4回あるのだから定例会ごとに年4回としてはどうか。これについて他の委員の方のご意見を。
- 議会モニター（出田牧子）：2回でいいと思います。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：その理由は何か。
- 議会モニター（出田牧子）：この熱い議論があと2回増えるのは大変だと思うからです。
- 議会モニター（吉國和則）：私7月に出て、今度9月の定例会と12月の定例会で、私は事務局に2月5日まで出した文章があつて、2回分がごっちゃになっちゃって、4回を基本としてやった方が新鮮で記憶もあるし、いろんな文書作るにも1回空くよりも私は4回あったほうがいい。でも4回というのが初めからモニター応募したのは年に2回という中で来てるので、いきなり任期中に4回っていうのは、モニター希望される方がどう思ってたかっていうことだと思っただけなんです。私個人としては4回あったほうがいい。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：いずれにしても今回は2回ということで募集をかけているということから言うと、検討するとしても次回ということになるのかなと思います。
- 議会モニター（出田牧子）：結構4回にするとモニターになるハードルがまた上がると思うので、それで出席率が悪いと言われたらまたなんかもっとハードル上がると思うので私は2回でいいと思います。

#### （4）議会の進行でよくわからないこと

- 議会運営委員長（橋本晃明）：総合的に検討していきたいと思います。よろしいでしょうか。次は議会の進行でよくわからない、疑問を感じるということですが、議会の進行全般についてご意見をいただいています。1番目が、進行の仕方がスマートになっている。各議員の心がけのせいである。これは今日、欠席の方の意見ということで、次にいきたいと思いますが、議会での議員の持ち時間、これ一般質問についてですけれども、90分と聞いておりますが、事前申告制を取り入れたらいいと思う。何分ぐらい必要かということですね。芽室町では実施しており、時間の目安ができ大変良いと聞いているということですが、これについてご意見ありますか。
- 議会事務局長（大尾 智）：芽室町で実施しておりと書いてあったんですけど、芽室町の事務局に確認はしてないので、確証はない。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：事実確認していないので、そこはそういうふうに、例えば事前申告制って言っても、どの程度のものなのかがわからない部分もありますので、それがあつたらいいかどうかということだけで意見いただければ。なければいいですけど。よろしいですか、特になければ次行きたいと思います。だいたいどの議員が長いか短いかっていうことは議会運営委員会でも人数の割り振りとかしてありますが、そうならない場合もありますけど、だいたいわかるかなというところですね。3番目、高校生の模擬議会がいつあるかわからないので見逃しやすく、後でYouTubeでも見られないので、見逃さずに済む方法があつたら嬉しいということです。
- 議会事務局長（大尾 智）：生では配信しているので、それを他の本会議と一緒に後日、1週間後ぐらいに見れるようになるんですね、それと同じように模擬議会も本会議と同じように見れるようにすることは、技術的にというか手法としては可能なんですよ。あとは高校と高校生とお話しして、今はライブだけなので、その後何回も見れたりしないもんですから、そこを高校側っていうか生徒さんが後で半永久的に見れるようになって大丈夫ですかっていう確認がもし取れれば、他の本会議と同じように後日見れるようには、技術的には可能ですので、そこはできるかどうか検討したいと思います。
- 議会モニター（出田牧子）：ありがとうございます。それで、なんで高校生模擬議会があつたのに見れなかった、見つけられなかったのかなって思うんですけど、ホームページをチェックしてなかったからか、議会だよりにいつありますというのが事前に出るものなんでしょうか。
- 議会事務局長（大尾 智）：そうですね、模擬議会についてはホームページに載せたかどうか確認してないんですけど、議会だよりの中で今後の予定とかっていうところで載せてるんですけど、例えば毎回の本会議みたいにチラシを入れるとか、分かりやすいお知らせの仕方はしてなかったのかもしれないので、もう少しわかるような形で事前にお知らせできればいいと思うので、その部分も少し考えてみたいと思います。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：お知らせはしてるんですけど、プッシュ型でやってはいないということなので、今後検討していく必要はあるかなと思います。次ですけれども、一般質問に関する事前通知と聞き取りがあるはずなのに、質問が始まってから内容についての不明で休憩を取って聞き取るというのは理解できない。傍聴者にもう少し無駄な時間を感じさせないようにしないと、ますます傍聴者が減るようになっていくと、具体的なこれに関する事っていうのがわからないので、今日は北村さんも見えてないのであれですけど。これは一般質問の通告に関して町民の皆さんにも分かりやすいようにしなければならぬのかなと思います。これも想像で話してもわからないので、皆さんからあれば、よろしいですか。次、5番目ですけれども、高校生による模擬議会の取り組みはよくやっていると評価している。町議会は単に理事者側の提案を待つことなく、議会側から町民が望む条例を制定することを知ってもらい、国政での三権分立で言えば立法府であることを実感してもらいたいと思う。そのために高校生が考えた新しい提案の中からこれぞと思うもの

を議会として提案し、条例を設定することがあってもいいと考えるということ。どなたか意見をお持ちの方がいらっしゃれば。これに関しても北村さんからのご意見なんですけれど、今日見えてないので、北村さん自身も議員されていたので、これは当然そういうこともあるかなとは思いますが、議長一言いただければと思います。

- 議長（山下清美）：議案として議員がそれぞれ提案をすることはできます。これは可能ですが、今後そういった部分も可能だということだけをご承知いただければと思います。あとはするしないはそれぞれの議員になりますので。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：今まで議会の進行に関するところで、当初の部分から全体的なところで議長にもご意見いただきたいと思います。
- 議長（山下清美）：議会の進行に関わっては、全体で決め事の中で進めておりますので、そういった部分が時間の関係だとか、そういった部分についてはより一層皆さんが分かりやすいような運営ができるように今後も進めてまいりたいと思います。

## （５）その他

- 議会運営委員長（橋本晃明）：次、その他ですけれども、各議員による個人の活動報告をしている人がいて、意欲と前向きな姿勢を感じる。これも今日見えてない方からの意見であります。次ですけれど、中央大学名誉教授、佐々木信夫氏が、地方政治について地方自治体が地域の課題に自ら対応していく力が求められている。山積する課題の解決へ限られた財源でどう対応するのか、今ほど地方議会に持続可能な自治体経営の手腕が問われている時はない。一方で議会改革も待たなしの課題だ。議員の質、議会の質をどう高めるかが大事だと、議会が活性化すれば地域が変わるとあった。是非参考にしてほしいということです。次に議会基本条例を作成してはどうかということで、これは吉国さん補足をお願いいたします。
- 議会モニター（吉國和則）：６ページです、ポイントと書いてあります。帯広市議会基本条例と町では栗山町の議会基本条例を添付しています。ポイントは議会や議員の基本的なあり方について、町民が評価できる基準を示すこと、多様な町民の繁栄に努め執行機関の監視とともに、首長とは別の視点から政策立案を行うこと、町民代表機関として役割、議員の職責、職務を町民への誓約として自ら明らかにすること。なぜこういうことをここにモニターとして意見を言ったかということ、議員は何をしているのかわからないとか、議員報酬は高いとか、議員の定数が多いとか、少数ではあるけど意見がある。こういう意見が出るって言うことは、そこで議員さん、議会の基本条例によって議員の責務を明確にしたり、議会改革の推進を図ったり、町民に対し議会の透明性をさらに推進します。これを議会の中で設置してはどうかって、ハードルはすごく高いと思いますけど、なんとか前向きに考えていただけるのか、話し合っただけなのかということで、モニターとして意見をここに書かせていただきました。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：議会基本条例の制定については、議会運営委員会の中の議会の活性化の中で議論していきたいと思います。次ですが、議会報告会と町民との意見交換について、今回のグループディスカッションでの取り組みは意見交換がしやすく、議会との距離が近づいたと感じた。ただ残念なのは開催周知の仕方である。新聞折り込みでの開催周知にはテーマ別のグループディスカッション実施の文言がなく、町民は過去のイメージのように大会場で挙手をして意見を発言するには勇気が必要になり参加に尻込みした町民もいたと思うということで、これは吉国さんですね。
- 議会モニター（吉國和則）：新聞見てグループディスカッションで終えたんだってのが分かりました。けども、今までどおり新聞折り込み、周知は一切書いてませんでした、グループワーク。
- 議会事務局長（大尾 智）：一応、グループディスカッションを行いますと書いてあったが、グループディスカッションを行いますというだけなので、どんな感じでやるの

かまではわからなかったと思います。

- 議会モニター（吉國和則）：それは削除でいいです。テーマとしてここに書いてあるんですけど、帯広市などは今回の帯広市のテーマが書いてあるんですけど、各常任委員会で市民が一番感じていることを話し合っ、市民との交流っていうようにしたんです。例えば帯広市の場合は総務委員会が防災、減災で、厚生委員会が町内会で、総務文教が学校給食で、建設委員会が除雪についてでした。他の町村もこういう形が多いと思います。清水町は今回3つのテーマで、議員のなり手とか女性議員とかそういったテーマでしたけども、昨年と一昨年もそんなに変わってないと思いますけど、できたら一番最後別紙2なんですけど、これ私の視点ですけど、町民の関心事は一例ですとここに書いたんですけど、どんなことに関心を持っているかというものを、新聞だとか地域を考えて書いてみました。例えばSDGs、今言われている清水の町民憲章、まちづくり推進協議会等は持続可能な開発目標SDGsに向かって推進してます。それからお金がかかるんですけど、第9期の介護保険料保険計画による個々人の保険料、いくらになるのかな、清水はどのくらいで払うのかなというのは気になる、私は気になります。あと昨年の秋大問題になってましたビートの減産計画、輪作体系、麦、馬鈴薯、豆類プラス、ビートの維持、こういった問題、それから去年一昨年度、大問題になりました生乳の生産調整、飼料高騰、乳牛価格の下落と言った三重苦っていう問題があるかと思っています。それから観光誘致につながる去年一昨年と町長が全国版のテレビにも出てましたけど、まるごと民泊、渋沢栄一翁の新1万円札、それからちょっと古くなりますけど牛玉井のグランプリ、2年前になりますけど全国どんぶり選手権優勝、こういった清水町として誇れる話題、それから、ふるさと納税、清水町で全部で375あるんですけど、アルプス牧場もございました。この十勝若牛とか十勝熟成黒にんにくとか、こういった地場産のものをふるさと納税に候補として出ます。それと、今世界的に言われている脱炭素と地球温暖化対策、それから北海道にはよく力入れないといけないところは再生可能エネルギー、家畜排泄物。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：ご意見をいただいているんですけど、テーマとしてはたくさんあるよと、次回からのそのテーマを選定する際に十分にその時期に合ったものを選びなさいということかなと思います。参考にさせていただきたいと思います。今回のテーマというのは本当にそれでやるということについては、議員の中でも賛否ありましたので、これは次回に向けてどういった内容が町民の方が一番話をしたい部分かということを見極めながら進めていく必要があるかなというふうに思います。ありがとうございます。次行きますが、町民との意見交換会の場で一つのテーブルを囲んでの話し合いができることは素晴らしい取り組みだと思う、もっと回数を増やしてもいいのではないかっていうご意見をいただいておりますが、他のモニターさん何かあれば、次ですけれども、町長との懇談の場が開かれているが、出されたすべての意見が公表されず、都合の悪い意見はなかったことにされる傾向がある、そういうことのないような議会との懇談の場があればいいと思う。これは事実確認していませんけれども、議会としては開かれた議事を遂行していかなければならないので、そういった面配慮していきたいと思います。以下は議会の進め方って言いますか、運営っていうのはちょっと違って、政策的な部分っていうのが入ってますけれども、フロイデの看板、結局何年経ってもそのままっていうような、これ出田さんから出されているところですけども。
- 議会モニター（出田牧子）：これはただ議会見てた感想なので、議会のこの場に重要なことでは全然ないんですけど、ずっと見てた感想として書いときました。長い間ずっと見てて今思うことって感じです。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：次に十勝圏複合事務組合のクリリンセンターの建て替えに伴う町負担やゴミ料金など、清水町が抱える現時点での問題点を調査して明らかにしてほしい、人口減でゴミの量が減る見通しに逆行した動きになってるんじゃないかという意見が出されてますが、クリリンセンターに参加することで経費を抑えようとしている面もあるのかなと思うんですが、これも課題として、議員個々

で取り組んでいくことにはなるのかなと思いますが、そういった面で承っておきたいと思います。次は十勝清水郷土史研究会の会員として考えてきたことですが、清水町は洪沢栄一ゆかりの町として深谷市をはじめ多くの自治体との交流がされているが、町民全体にどう関わるのか今一つ不透明な感じがする、さらに洪沢栄一関連で来庁される方々の受け入れの受け皿が町にはできていない感じがする、渋谷農場に押し付けてはいないか、さらに清水町の歴史や洪沢栄一の哲学や思想を町民に知ってもらう事業と合わせて歴史的な施設や史跡を保護していくための文化財保護条例の全会一致での制定を望みたい、そのために議会としての動きを作ってもらいたいというご意見が出されておりますけれど、これも本日欠席の北村さんからの意見ですが、政策的な部分かなということと区分けしておりますけれども、議会としても取り組みなさいということだと思っておりますが、これについてはこの場ですぐどうするこうするということにもなりませんので、それぞれの活動の中で進めていければというふうに思っておりますが、皆さんの方からありますか。その他というので。

○議会モニター（大野春雄）：先ほどは失礼しました、早とちりしまして迷惑かけました。もう時間もありませんので、要点だけお話をさせていただきます。盗聴器の件は皆さんご存じだと思います、ただ、盗聴器にカードが入っていないから悪性でないと答えてもいます。この状態を簡単に捉えることの重要性を軽く捉える議員事務局は清水町民の多くの人は声を驚きと感じていることは事実です。事件性がないから議会の甘さを指摘されているのを真剣に対応すべきと考えます。またこのようなことが起きないとは限りません。警察に連携をとっていると答えては私はその返事を頂いてます。町民であって議員であることを清水の行政が対応してください、1日も早い回答を望むってことなんですけども、この件に関しては軽く扱ってるんじゃないかと私は思います。カードがなかったからいいとか、事件性がないからいいとか、もってのほかの言葉だと思います。あったないの問題じゃないんです、そこの感覚がずれてんです、町民と皆さん、我々もそうなんですけども、それがずれてると思います。入れられたことわかってるのならそれを早く対応を取るのは議会であり事務局じゃないかと思えます。このままにしていくな言葉は悪いですけどもほっといて終わりですよ。警察に言ったってその報告はない、私たちモニターやらせていただいて、大野さん行って何やってるのよと言われます。何て応えればいいんでしょう、今警察に言ってます、それでも新聞とかに出してるんならいいんですけど、何も事件性がないから出さないのわかってますけども、道新にさえ叩かれてるんです。皆さんも新聞見たから知ってると思う、こんなこと言いたくないんですけど、道新にもでっかく出てるんです。時間がありませんから言いませんけれども、そういう問題の、11月25日の道新全道版に清水の議会の控室の盗聴器らしきものって出てるんです。新聞に出た以上、町民は皆関心を持ってるんです、色々な懸案が私言ってますけども、それが答えが返ってきてまとまったこと一つもないです。なし崩しで進歩してないんです。そういう状況を打開しないと、清水町は何をやっているんだって、それじゃなくても他の問題でいっぱいあります。話す時間がありませんからやりませんが、色々な懸案が、新しい議員はわからないことがあるかもしれませんけれども、長くやらせていただいている中で、懸案がいっぱいあります。みんな止まっちゃってます。そういう状況の中でまたそうかという気持ちになっている町民が多いんです。どうしてこっから進まないんでしょうか。事件性を議員の方は捉えてないんでしょうか、ほっとけば終わるって問題でしょうか、その点、時間がありませんけど、今日ご出席の議員の方に一言ずつお伺いしたいと思います。このままでいいと、大野さんの言うの間違っていると、事件でもないんだからほっときゃいいという状況なのか、これからなんとか町民に答えられるような中間発表でいいですけども、私は警察にも言いたいですが、私が直接警察行ったらおかしくなっちゃうから、大野さんがやってるんじゃないのって言われても困るから、そのくらいの気持ちはあります。警察も動かなさすぎます、本当に訴えたんなら、警察にこの件をお話になったなら警察が動かないことはないんです。何で

動かないんでしょうか、それは皆さんわからないと思いますけどね、警察のことですから。私はそれを危惧してます、町民も危惧してます、事件として扱ってない、ただの噂とかそんな感じです、いたずらとかそういう関係、それだったら警察言う必要なかったんです、大きく問題にすることないんです、そうしたら新聞にも出ないんです、こういう問題を介しても何でできないんでしょうか、中間の今の状態、私は事務局長とか議長からうすうすは聞いてます。町民に伝わってないんです、そういうことに対して皆さんのご意見を聞きたい、このままでいいんだと、大したことじゃないんだと捉えてるんだとしか考えてません。それともこれからしっかりしないといけない、そう思うのかどうか一言だけでいいから聞きたいです。

○議会運営委員長（橋本晃明）：この件に関しては、議会の中で全員協議会の中でも検討しながら、一つの方向性というものを共有しながら警察に届けて進めております。議会の中では中間報告っていうか、全体協議会やるたびにその後どうなったかという報告もされておりますので、ただ、町民の方にお知らせするということには至っていないですけども、議員個々のおっしゃいましたが、議会として1つになって進んでますので、議長の方から統一したものを答えていただきたい、3人の方しかいらっしやらないですけど報告していただきたい。

○議長（山下清美）：ただいま大野さんから貴重なご意見をいただきまして、議会としても大野さんの言われたように機械装置がついてただけで事件性があるんだっていうお話をいただきまして、それで議会としても全員の総意で警察に届けをしたところです。警察の方での動きについては、その都度全員協議会の前にですね、今の状況を確認しておりますが、町民の皆さんにはお伝えする部分には全然まだ至っていないんですが、警察としてはそのものが来たっていう時点で事件の届出あるなしに関わらず捜査はしていますんで、動いておりますので、実際に事務局に来ていろんな部分の場所を見てったり、そういった部分は刑事の方が来ていらしたんで、その部分ぐらいしか今のところ報告できない、お知らせする部分がないってことでご理解いただいて、その都度また動きがあれば、報告を町民の皆さんにさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○議会モニター（大野春雄）：町民に対してですね、ある程度説明してもらえるんですね、ありがとうございます、よろしく願いします。これもそのままにしておかないで、期待はしていますのでよろしく願いしたいと思います。また、次のモニターで言わないようになんとか頑張ってください、よろしく願いします。このままじゃ終わってます。冒頭お話ししたんですけども、皆さんもそうですけど議員の皆さんにも申し上げたいと思います、3人しか来ない状態について、モニター会議をもって意義があるのかなのか、これをお考えいただきたい。多くの町民が少しでも、多くの町民が来て意見を言う、3人の方が悪いということではないですよ、それは誤解してもらいたくないです。一生懸命出てきていただいて本当にありがたい、私自体も感謝してます。この状況を皆さん見て、モニター大切なんだっていう感じが持てますか。3人ですよ、10人いなきゃいけないところ、見つからないのは各自忙しかったり仕事があったりしてなかなか家に、仕事をしてない人とかそういう人しか委員には選べないと思います。なかなか仕事で疲れてるのに出るといわれても出られないと思います。そういうのはわかっておりますが、この状況が続くんならモニターって何のためにやるんだと、それ言ったのも伝わってない、何言っても伝わらない、町民の代表として出てる私は自負があります。だから私に町民も言います。あれはどうなってるんだって、答えられない問題ばかりです。そういうことも考えていただきたい。傍聴はインターネットだとかありますけど、そういう問題も大事です。やめるとは言いませんけど、こういう問題こそ、こういう状況を訴えて少しでも増えるような状況でない、モニターって言ったら何も私は今んとこプラスにはなっていないと思います。吉國さんともう一方もやってらっしゃり申し訳ないけども、この状況が続いて色々な意見言っても、聞いてくれないってことはないけれども、それで私は納得できない。以上で終わりです、あまり話しても時間が。

- 議会モニター（出田牧子）：さっきの無作為で当てるって事なんですけれども、10人に話を振って6人引き受けてくれたら、毎年6人ずつ習慣的にYouTubeで聞いてくれる人が増えると思うんですよ、当たれば聞くと思うので、そういう習慣がつく人を毎年何人か増やしていけると思うのと、私が議会モニターになった時は、ネットからファイルをダウンロードしてそれを見ないと見れなかったんですね、それも議員が答弁してるところだけしか見れなかったから、今はライブっていうYouTubeのやつで全部通しで見れるんですよ、そしたら進行もどういようになっているか見れるので、それで別にずっと見てなくてもYouTubeでも聞けるようになったので、私が議会モニターに始めに来た頃は、皆昼間仕事があるのに議場まで来て見るのは絶対無理だよなと思って、ほとんどの人はできないんだよなと思ったんですけど、今の状態だとYouTubeで聞けばできると思うので、無作為に当ててやってみるのがいいんじゃないかと思います。それと同時に自主的にやりたい人はどうぞっていうことをもっと宣伝したらいいんじゃないかなと思いました。よろしくお祈いします。
- 議会運営委員長（橋本晃明）：モニターの募集については制度として決められたものがありますので、そこも含めて議会の活性化に資するように進めていくよう検討したいと思います。モニターの皆さんからのご意見については一通りここでそれぞれ意見交換していただきましたので、ここでマイクを進行の方に戻したいと思いません、ありがとうございます。

## 6 質 疑

- 司会（只野敏彦）：レジメどおりに行きますと質疑になっておりますが、何かございますか。それでは長時間にわたりご議論いただき感謝申し上げます。閉会にあたり清水町議会副議長、深沼達生よりご挨拶申し上げます。

## 7 閉会・挨拶

- 副議長（深沼達生）：今日は大変多くの意見をいただきましてありがとうございます。当初モニターの人数10人集めようと思いましたが、私たちの力不足の中で6名しか集まりませんでした。今回3名欠席で本当に申し訳ない、こちらがもうちょっとしっかりしてればなとつくづく思いました。そこで、夜の7時に今までずっとやってきたんですが、これもこれからの検討なんです、昼間がいいのか、たぶん個人個人によって色々あると思うんで、それも聞きながら皆さんができるだけ出席できるような形をとっていきたいと思いますので、今後ともどうかよろしくお祈いしたいと思いません。今日は本当に遅くまでありがとうございます。
- 司会（只野敏彦）：以上で令和5年度第2回清水町議会モニター会議を終了します、ありがとうございます。